

「持っているが活かせていない県」
を返上すれば魅力度日本一を目指せる！

2018/5/29

仁衡

県の営業戦略への提言

- 知事がメロンをプッシュして頂いているように「茨城が既に有している強みだがこれまで全く活かしきれていなかったものをキッチリ活かす」ことが営業戦略上重要だ
- 今ないものの誘致、新規振興も大事だが、それはとかく
 - 各自治体で似たようなことになり誘致合戦
 - 各自治体で似たようなことになり独自性まったくなしということになりかねない。
- そこで「総合計画」というよりは細かい話になるが以下に具体例を幾つか挙げたい。多少のご参考にでもなれば望外。

(宇宙)宇宙 × 教育

- 茨城にはJAXAがある。他県には無い強み(あとは神奈川、鹿児島に少々程度)
- ただしJAXAが積極的に進めている撮影した画像や取得したデータの活用となると地域差は活きない。
- JAXAと直接連携せずともその周辺に宇宙関連産業が発達している(管制、打ち上げ等々)。
- また、次ページに記事を挙げるように県内高校二校の生徒が提案した実験が宇宙で為されたりしている。
- 管制と教育をからめて、茨城らしい取り組みを進めると良い

高校生提案の実験を宇宙で 金井さん、来年2月にも

ツイート B! 0 シェア 2 G+

2017年12月19日

ロシアのソユーズ宇宙船で打ち上げられた宇宙飛行士の金井宣茂さん（41）が十九日、国際宇宙ステーション（ISS）に到着する。到着後、日本実験棟「きぼう」で、つくば市内の高校生から提案された二つの物理実験を予定する。生徒たちは、宇宙で実験が実現するのを心待ちにしている。（宮本隆康）

宇宙航空研究開発機構（JAXA）によると、「きぼう」で日本の高校生発案による実験をするのは初めてという。二〇一一年からアジアの学生や若手の科学者らを対象に、「きぼう」で実験する簡易な案を募ってきた。六回目の今回は、七カ国の三百六十一人から百六十九件が提案され、八件が選ばれた。この中には、ともにつくば市内にある県立並木中等教育学校と、私立茗溪学園高校の案が一件ずつ含まれていた。

並木中等教育学校の提案は、らせん状に切り抜いた紙製のバネの動きを観察する実験。茗溪学園の案は、針金でつくった輪が、上下左右に回転する動きを調べる。ともに宇宙の無重力状態で、どんな動きをするかを試す。

金井さんは出発前の今年九月、つくば市のJAXA筑波宇宙センターで、生徒たちから直接、実験内容の説明を受けた。生徒たちが作った紙製のバネと針金製の輪は、既に補給機でISSに届いている。金井さんはISSに約六カ月、滞在し、実験は来年二月ごろを予定している。



「紙のバネ」を説明する並木中等教育学校の十川さん（左）と藤田さん=つくば市で



実験用の針金製の輪を見せる村上さん（中）と茗溪学園高校の科学部員ら

発案した生徒たちは十七日、筑波宇宙センターで打ち上げの中継を見守った。

並木中等教育学校五年の藤田宏貴さん（17）は「興奮している。学校の実験と違い、結果が分からないので楽しみ」。十川嘉向さん（17）は「宇宙で実験してもらえるのが、待ち切れない」と話した。

茗溪学園の案を発案した科学部員で一年生の村上義典さん（16）は「貴重な機会なので、うれしい。とても幸運。金井さんには滞在期間の六カ月間、頑張ってもらいたい」と笑顔を見せた。

(医療)認知症対策先進県

- 実は茨城は認知症対策先進県！
- **筑波大には日本認知症学会理事新井哲明教授**がいる(本県出身者)
 - **利根町**で前任の朝田隆教授から続けて**継続的な予防介入実証**を続けている
- 筑波大発ベンチャーA社もある(つくば市。第1回めぶきビジネスアワード大賞)…血液から軽度認知症を診断
- 茨城県の制度グローバルニッチトップ企業育成促進事業でも開発製品として掲げられている12製品のうち3製品が認知症対策
 - B社(水戸市)…軽度な手技検査による認知症早期診断
 - C社(つくば市)…軽度な手技検査による認知症早期診断、訓練
 - D社(つくば市)…匂い認識検査による認知症早期発見
- 医療機器開発助成だけでなく、PMDAを通し市場に出すところも支援する施策が望ましい

(教育・スポーツ)筑波技術大学の活用

- 視覚・聴覚に障害を持つ人を対象とした国内唯一の国立大学
- もちろん筑波大学体育学群は国立大学に設置されたたった二つの体育専門学部の一つ。もう一つは鹿児島島の鹿屋体育大学という専科大学であり、国立総合大学に設立されている例は唯一
- これらを活かし、障害者国体、パラリンピック等のスポーツ、あるいは障害者の社会参加等に先進的な県を目指す

(医療)救急救命先進県茨城

- 実は日本有数の活発な活動、ユニークな活動あり
- 嚔下障害による高齢者死亡を防ぐ機器開発
 - 筑波大学発ベンチャーA社(つくば市。第2回めぶきビジネスアワード優秀賞)
- 母体救命システム普及協議会J-CIMELSの会長は水戸の石渡医師
 - つくばセントラル病院の長田医師が中心となり国内でも京都に次ぐ活発さで活動を推進中
 - B社(つくば市)製品「救トレ」(第2回めぶきビジネスアワード特別賞)もその活動に寄与
- NPO法人子どものための救命教室(つくば市)も活発に活動中
 - 幼少期からの救命教育という類例をみない活動を実施中
- ドクターヘリの発展をもたらしたのも本県出身者
- 筑波大学、つくばメディカルセンターなども救急救命訓練が盛ん

(産業)加速器技術立県茨城

- 茨城は日本一の加速器設置数！…茨城23、大阪14、埼玉10…
- つくばのKEKBで小林・益川理論のノーベル賞
- 後継のスーパーKEKBは今月、世界最高のルミノシティ(性能尺度)を達成。更なる研究に弾み
- 東海村には世界有数の加速器J-PARC
- これらを支えてきた中小企業が多数立地
- 原子力と関連深い技術が加速器技術。原子力関連産業をうまくずらして加速器技術に持っていけるとよい。医療応用・インフラ検査応用等、用途はさまざま。
- 廃炉技術先進県、というのも有り

(産業)工業団地活用

- 工業団地誘致1位というのは誇れる
- ということは工業団地、工場が多くバラエティもあるはず
- それらの会社・工場を県がうまく主導してつなげられないか
- 優遇措置がなくなったら出て行ってしまった、とならないよう

(観光)常世とこよの国いばらき

- 日本で茨城だけ！ キャッチフレーズに「常世(=極楽)」を使える県！
- 1302年前の書物「常陸国風土記」冒頭で京都から来た役人である高橋虫麻呂が、その広大さや海山の産物が豊かである様子などから、
常世の国といへるは、けだし疑ふらくは此の地ならむか
と言っている。民俗学者谷川健一「常陸一東方の聖地」
- 筑波山は万葉集で最も多く歌われた山。古事記・日本書紀では連歌(和歌のもと)が発祥した地とされる。百名山に例外的選出。
- 鹿島神宮にも実に豊かな歴史有り
- これらを活かさきれていないのはもったいない！！

(付)3年後の2021年は「茨城県150年」

- 1871年に茨城県成立から150年
- 2019年の茨城国体、2020年の東京オリンピック/パラリンピック一部競技開催に引き続き、
- 2021年には「茨城県150年」という50年に1度しか使えないキーワードを、広報、イベント等に活用してはいかがでしょうか？

(付)総合計画全般への提言

- 今回作成する計画が「概ね2030年頃を想定」ということは、SDGsのゴール設定時期2030年と重なる。
- 配付資料2「将来構想」第6節にも既にあるSDGsとの整合性・親和性をより強く打ち出し、「**SDGs対応先進県**」としての位置付けを獲得していくとよいと思う。